

青少年赤十字100周年記念 第31回高知県青少年赤十字研究大会を開催しました



2月11日(土)に高知城ホールで開催し、中・高校生、指導者、赤十字奉仕団などあわせて約50名の方に参加いただきました。

この大会は年に1度開催され、高知県内の学校に今年度取り組んだ防災やボランティア活動等について発表していただくものです。発表後は、お互いに質問したり感想を伝え合うなど、学生同士の交流の場となりました。

後半は、日本赤十字社青少年・ボランティア課職員による「ウクライナ人道危機から考える国際人道法」と題したオンライン講演を行い、次代を担う子供たちが人道について考えるきっかけをお伝えいただきました。詳細はHPIに掲載していますので、ぜひご覧ください。



発表校のご紹介

- 土佐女子高等学校「私たちの活動」
- 黒潮町立佐賀中学校「かがりがましい防災～日本一の防災を目指して～」
- 明徳義塾高等学校「明徳と防災」
- 高知県立高知小津高等学校「正しい救急法をして命を繋ごう」
- 土佐中・高等学校「インターアクト部の取り組み」

活動資金ご協力者一覧(法人敬称略)

2022年8月～12月までに、5万円以上の寄付をいただき、掲載についてご了承いただいた個人・法人様を掲載しています。

- 高知市
 - 柴田恵子様 有限会社舞高電設
 - きもの処公文 株式会社オガ商
 - 株式会社サニーマート 明治安田生命保険相互会社高知支社
- 須崎市
 - ご当地キャラまつり in 須崎 実行委員会



9月のご当地キャラまつりでの収益金をご寄付いただきました。

令和5年度日本赤十字社高知県支部主催講習スケジュール

救急法 ■基礎講習(時間 13:00-17:30) 5月27日(土)、6月25日(日)、7月8日(土)、8月20日(日)、9月9日(土)、10月21日(土)、11月25日(土)、12月9日(土)、1月21日(日)、2月18日(日)、3月9日(土)	■救急員養成(時間 9:00-17:30) 8月26日(土)～27日(日) 10月28日(土)～29日(日)
健康生活支援【支援員養成】(時間 10:00-17:00) 5月20日(土)～21日(日)、9月2日(土)～3日(日)	<p>優しくいねいに教えます♪</p> <p>企業や地域の団体からのご要望により出張講習を行っています。お気軽にお問い合わせください。</p>
幼児安全法【支援員養成】(時間 8:30-17:30) 7月1日(土)～2日(日)、9月30日(土)～10月1日(日)	
災害時高齢者生活支援(時間 13:00-15:00) 6月17日(土)	
水上安全法【救助員I】(時間 9:00-17:00) ・救助員I養成 7月15日(土)～17日(月祝) ・救助員II養成 8月5日(土)～6日(日)	
雪上安全法【救助員I】(時間 9:00-17:00) 12月9日(土)	

短期講習 いきなり長時間の養成講習はちょっと・・・という方、まずは少しだけ体験してみませんか？		
健康生活支援(短期) 6月17日(土) 15:30-17:00、 2月 2日(土) 13:00-14:30	幼児安全法(短期) 11月11日(土) 10:00-11:30	災害時乳幼児生活支援講習(短期) 12月2日(土) 13:00-14:30

※各講習は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行ったうえで実施します。また、感染の状況によっては中止とさせていただきますので、ご了承ください。

講習会に関するお問い合わせ・お申込みについてはHPからお願いします。アクセスはこちら



第58号
令和5年4月

ふれあい

発行・編集
日本赤十字社高知県支部
広報委員会
〒780-0850
高知市丸ノ内1-7-45
総合あんしんセンター1階
TEL:088-872-6295
FAX:088-872-6299



ホームページはこちら



活動資金にご協力お願いします



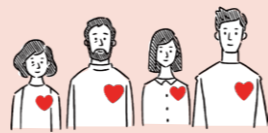
県民の皆さまには日頃から赤十字事業の推進にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
毎年5月は、赤十字活動を普及するための「赤十字運動月間」としています。県民の皆さまには、医療救護活動や救急法の普及など赤十字が行う様々な人道的活動に本年も温かく力強いご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。
日本赤十字社高知県支部
支部長
濱田省司



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

- TOPICS**
- ◆ 2 P 赤十字運動月間について
 - ◆ 3 P 日本赤十字社高知県支部 災害医療救護訓練を実施しました
 - ◆ 4 P あなたのまちの赤十字奉仕団
 - ◆ 5 P いきいき健康教室、ミニ講座について
 - ◆ 6 P 笠井アナウンサーが輸血体験を語ってくれました
 - ◆ 7 P 「はたちの献血キャンペーン」を実施しました
 - ◆ 8 P 第31回高知県青少年赤十字研究大会について

日本赤十字社は、人間のいのちと健康、尊厳を守ることを使命として、世界192か国に組織された赤十字・赤新月社と連携し、国内外において様々な人道的な活動を展開しています。



5月は赤十字運動月間です。

赤十字の活動を支えているのは、県民のみなさまです。 赤十字活動資金へのあたたかいご協力をお願いします。

数字で見る 令和4年度日赤高知県支部における赤十字事業報告

災害医療等の訓練

3回 157名 救急法等講習会 286回 7,584名



赤十字ボランティアの人数 45回 4,462名

青少年赤十字加盟校・園 118校 7園

青少年赤十字出前講座 実施回数 101回

救援物資のお届け 28世帯(毛布44枚、タオル9枚、緊急セット17個)

よくあるご質問



Q. 赤十字って何をしているの？

A. 国内外の災害の現場に駆け付け、命を救うための医療・看護の支援や救援物資の配布などを行ったり、平時にはいのちと健康を守る知識と技術を広く伝えるための救急法などの講習会を開催しています。

Q. 活動資金の寄付はいつ・どのように受け付けているの？

A. 寄付の受付については年中行っていますが、特に毎年5月は、赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生日(5月8日)にちなみ「赤十字運動月間」として、地域の協力者による訪問やお住まいの町内会や自治会などを通して積極的なご協力をお願いします。



表彰制度について



10月13日、長年活動資金募集活動等へ功労いただいた個人23名と、これまで高知県支部に多額の寄付をお寄せくださった個人4名・法人15社へ有功章等の伝達及び表彰式を執り行いました。

日本赤十字社と国からの表彰制度がございます。

★日本赤十字社からの表彰

- 銀色有功章 20万円以上に達した方
- 金色有功章 50万円以上に達した方
- 日本赤十字社社長感謝状 金色有功章受章後、累計額が50万円以上に達した方

★国からの表彰

- 厚生労働大臣感謝状 年度内に一時または累計額が個人は100万円以上500万円未満、法人・団体は300万円以上1,000万円未満のご寄付をいただいた方
- 紺綬褒章 個人は500万円以上、法人・団体は1,000万円以上のご寄付をいただいた方

ご寄付の方法について

★お近くの金融機関で

郵便局・銀行の窓口で設置している振込票に寄付金額、住所、氏名等を記載し、窓口にてご寄付いただけます。



★お近くの窓口で

お住まいの市町村の社会福祉協議会または福祉事務所の赤十字窓口でご寄付を受け付けております。受付窓口一覧はこちら



★金融機関の口座振替で

QRコードより申込書をダウンロードし、必要事項をご記載のうえご郵送ください。年払い、月払いからお選びいただけます。



★クレジットカードで

クレジットカードでご寄付いただけます。毎年・毎月・今回のみからお選びいただけます。



★スマホアプリで

QRコードよりスマホアプリをダウンロードし、ご本人様の情報を入力後、募金アイコンから日本赤十字社へご寄付いただけます。



そのときどうする?!「高知県内で大雨土砂災害発生」

令和4年度 日本赤十字社高知県支部災害医療救護訓練を実施しました

「高知県内で大雨土砂災害が発生し、多数傷病者・避難者が発生している」という想定のもと日本赤十字社高知県支部、高知赤十字病院、高知県赤十字血液センターの三施設で2日間(10/8,10/9)の合同訓練を行いました。1日目は、グループワークや災害図上訓練(DIG)などを行い、2日目はテント設営や救護所活動等を行いました。



「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命としている日本赤十字社は、さまざまな事業を行っています。中でも、災害救護業務は日本赤十字社自らが達成すべき「人道」的な任務です。

近年、日本各地で頻発する豪雨災害、いつ発生してもおかしくない南海トラフ地震などの災害に対し、一人でも多くのいのちを救い、被害を最小限にするため、わたしたちは日頃から訓練を行っています。

日本赤十字社として初めて行った1888年(明治21年)の福島県磐梯山噴火の災害救護活動から、今日までの活動で培った知識、技術を受け継ぎながら、これからも災害に正面から向き合っていきます。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

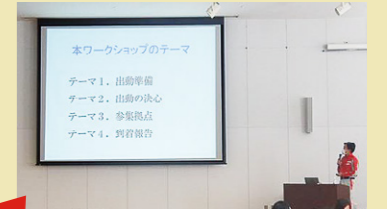
参加した救護班員の感想

初めて参加させていただきました。実際に災害現場に派遣された方の話や、ハザードマップを使つての被害の想定、テントを立てて実際にトリアージするなど、災害時にどうするべきなのかを前より具体的に想像する機会になりました。今回の学びを今後活かしていきたいと思ひます。

2日間のスケジュール

1日目

- 9:00 開会
- 9:30 「赤十字と災害救護」「災害医療概論CSCATTT」
- 10:40 グループワーク「広域災害・遠隔地派遣」
- 12:00 昼食
- 12:50 「EMIS」
- 14:10 「災害時に利用する様式等」
- 15:20 災害図上訓練(DIG)
- 17:00 終了



発災から被災地へ向かうまでの流れ



地図を見て、グループで話し合いながら実際の被害をイメージしていきます。

2日目

- 9:00 テント設営
- 12:00 昼食
- 13:00 避難所活動、救護所活動
- 16:00 閉会



力を合わせて組み立てます!



完成! 災害時の医療施設や負傷者の収容施設として活躍します。



地域奉仕団の方が炊き出しをしてくれました! 訓練参加者から大好評でした。



今から診察しますね



あなたのまちの
赤十字奉仕団

3年ぶりに奉仕団研修会を開催しました

地域に根ざしたさまざまな活動を行う赤十字奉仕団。
高知県では、現在31市町村において地域奉仕団（ボランティア）の方が各地域のニーズに沿った活動を行っています。令和4年度、各市町村の奉仕団同士の交流・連携、赤十字への理解を深めていただくことを目的とした研修会を3年ぶりに開催しました。
わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動しています。これらの原則の意味を改めて考えてみると同時に、日頃の私たちひとりひとりの活動にも関連した部分があるのではと振り返っていただきながら、7原則を使った標語を作っていました。普段は別々の奉仕団に所属していますが、お互いの自己紹介をしながら終始和気あいあいとした中で研修会は進行了ました。



まずは全員で赤十字奉仕団員信条唱和を行います。



県内6カ所で開催、164名が参加。それぞれの考えた標語を出し合い、グループで一つ完成したものを発表いただきました。

赤十字7つの基本原則

- 人道**: 人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平**: いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立**: すべての人の信頼を得るため、いっさいの争いに加わりません。国や
- 独立**: 他の救助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕**: 利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一**: 国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を求めます。
- 世界性**: 世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、お互いの力を合わせて行動します。

実際に作成された標語の一例

世界性

助国赤
を十
あ越
えの
の

公平

救尊
いの
の確
手保
な時
にも
誰に
でも

奉仕

無いら
事かぬ
ならぬ
あなた
はが

研修会の後半では、各市町村を代表して安芸市地区赤十字奉仕団による活動紹介も行いました。

安芸分区分では、「優しい声かけ」をモットーに、地域の生活に根付いた活動を続けています。町で出会ったお年寄りに「こんにちは！お元気ですか」と、お声をかけてコミュニケーションをとることが、親しい関係への第一歩と実践しています。
また毎月1回「ホットハート（熱い心）」と名付けた奉仕団分区分会を開催。15名の奉仕団員が気の付いたことや問題点・知恵などを出し合い、和気あいあいとした雰囲気の中で、活動につながるものが生まれ、奉仕団員同士の楽しい交流の場となっています。本年7月、8月の安芸市のコロナ感染者拡大の際には、メンバーでマスクを作り、「マスクの展示」やたくさんの方々に配布しました。この活動を知った方が2名奉仕団員になってくれて、仲間の絆が強まり一層パワーアップしました。
これからも日赤奉仕団の一員としての誇りを持ち、微力でも地域のお役に立てるよう助け合いながら楽しく活動を続けていきたいと思っています。

安芸市赤十字奉仕団委員長 安岡 由美子

プロフィール: 平成17年安芸市赤十字奉仕団に入団。現在は安芸市赤十字奉仕団委員長の他にも日本赤十字社高知県支部評議員、高知県赤十字奉仕団活動推進協議会副会長なども兼任し、社会福祉の増進に尽力されている。令和4年度安芸市民賞受賞。
主な活動: 通学路街頭指導、老人養護施設訪問、炊き出し訓練など



安芸市民賞受賞の様子で本人(左)



お手製のティッシュケースや古新聞で作った汚物入れを、老人養護施設へお届けした時の様子



研修会の感想

標語を皆で考えると思考が深まり、発表し合うことで楽しむことができました。日赤奉仕団としての心構えを改めて自覚し直しました。

(安芸市奉仕団の活動について) コロナ禍での活動も具体的で温かさ・心を感じる活動と感じた。月1回集まりを持ち、実行していることに驚きます。色んな手作り品など工夫を凝らして素晴らしかったです。

日本赤十字社の活動はボランティアのみならず、みなさまによって支えられています。赤十字事業に興味がある・ボランティアに参加したいという方は是非高知県支部までお問い合わせください。



令和5年度 高知赤十字病院

参加無料
申込不要

いきいき健康教室

当講座は、「健康でいきいき暮らす」ためのヒントや知識を、専門の講師が分かりやすくお伝えします。

開催場所・日時 高知赤十字病院 2F図書ラウンジ
第三水曜日 / 14時～

教室内容 健康講座(約30分) / 相談コーナー

対象者 地域住民の皆さま、外来・入院患者さま



令和5年度 講座年間スケジュール

開催日	テーマ	講師
4月19日(水)	食べて健康! ～食べ物力～	管理栄養士
5月17日(水)	知っていますか?医療費と公的制度	社会福祉士
6月21日(水)	薬の正しい使い方	薬剤師
7月19日(水)	熱中症、人ごとだと思いませんか	救急看護認定看護師
8月16日(水)	胃カメラによる胃がん検診について	健診センター長(医師)
9月20日(水)	筋肉鍛えて健康に! ～自宅でもできるホーム貯筋術～	理学療法士
10月18日(水)	認知症の基本を知ろう	認知症看護認定看護師
11月15日(水)	みんなで防ごう! インフルエンザの予防の知識	感染管理認定看護師



お住まいの地域へ「ミニ講座」の出張をします

高知赤十字病院では、専門職による「ミニ講座」を出張開催し、県民の皆さまに医療や看護、介護などの正しい知識を身につけていただくことで、安心して暮らしていただける地域づくりに貢献したいと考えています。講師料は無料です。

詳しくは、高知赤十字病院ホームページをご覧ください。
高知赤十字病院 ミニ講座



救急看護認定看護師「熱中症、人ごとだと思いませんか」



社会福祉士「知っていますか?医療費と公的制度」



作業療法士「認知症予防のために!～脳力アップ教室～講座」

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止になることがあります。

日本宝くじ協会様から 新しい献血バスを寄贈いただきました！



日本宝くじ協会様から新しい献血バス「宝くじ号」を寄贈いただきました。

宝くじ公式キャラクターの「クーちゃん」と「けんけつちゃん」がプリントされています！

1月から県内の企業(職場)や学校・商業施設等、様々な場所で活躍していますので、献血バスを見かけられましたら、ぜひお立ち寄りいただき献血へのご協力をお願いいたします。

笠井アナウンサーが輸血体験を語ってくれました

日本赤十字社では、令和4年9月より展開している「めぐる献血プロジェクト」の一環として、輸血経験者による献血セミナーを全国で実施し、中国四国地域においては、近森病院附属看護学校(令和4年9月30日)と高知県立高知追手前高等学校(令和5年2月3日)の2校で、フリーアナウンサーの笠井信輔氏にご講演いただきました。

笠井アナウンサーは、血液のがんである悪性リンパ腫を発症した際、入院治療中に赤血球と血小板の輸血を受けた経験を交えて、「治療中は、コロナ禍の外出自粛の影響により献血者が減ったことや、Rhマイナスの珍しい血液型であったことで直ぐに輸血を受けられなかった」「抗がん剤の副作用による激しい頭痛が辛かった」と当時の体験を話してくださいました。



その厳しい入院生活のなか、「わたしを支えてくれたのは22人の看護師の皆さんでした。」と、当時担当してくれた医療従事者への感謝の気持ちなどを語ってくださり、学生達も真剣な眼差しで聞き入っていました。

近森病院附属看護学校での講演後は、献血バスによる献血を校内で初めて実施させていただき、事前の問診・検査を合格した28名の学生・教職員の皆様にご協力いただきました。



近年、新型コロナウイルス感染症の影響により、大学や専門学校等での献血協力が得られにくい状況が続いております。献血してくれた方の善意によって輸血で助かる患者さんが多くいらっしゃることを、皆様に改めて知っていただく機会になれば幸いです。



「はたちの献血キャンペーン」を実施しました



令和5年1月9日(月)にイオンモール高知・南コートにて、「はたちの献血キャンペーン」を実施しました。このキャンペーンは、若年層をはじめとした県民の皆様へ「献血の重要性と、献血が“身近なボランティア”であること」を広く伝えることを目的として、毎年実施しております。

当日は、今年20歳を迎える高知県立大学健康栄養学部の「島崎 千昌(しまざき ちあき)さん」が一日所長に任命され、各学校から参加していただいたボランティアの学生とともに献血の呼びかけを行い、62名の方から献血のご協力をいただきました！

南コートでは高知県立高知東高等学校看護科の皆さんによるワークショップや、高知県立岡豊高等学校の皆さんによるクラシックギターの演奏や、合唱なども披露していただきました！

また、VRゴーグルを使った献血疑似体験ブースも展開し、ご来場いただいた方に献血について知っていただく機会を作ることができました。



一日所長挨拶



学生による啓発活動



「けんけつちゃん」と高知県のイメージキャラクター「くろしおくん」との記念撮影ブース

学生ボランティア募集中！

高知県学生献血クロス倶楽部では一緒に活動する学生メンバーを募集しています。ご興味のある方は下記ツイッターをご覧ください、連絡フォームよりご連絡をお願いいたします！

例年の活動紹介

夏には「サマーキャンペーン」
冬には「全国学生クリスマス献血キャンペーン」を実施しています！



クロス倶楽部twitter



連絡フォーム

プレゼントクイズ



問題 赤十字の7つの基本原則のうち、「利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します」を表すものは次のうちどれでしょう。
①人道 ②公平 ③奉仕

締切 令和5年9月30日

応募方法

- WEB: 右記二次元コードから
- メール: somu@kochi.jrc.or.jp
- はがき: 〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1-7-45 総合あんしんセンター1階 日本赤十字社高知県支部 あて

記入内容

- ① お名前 ② ご住所 ③ ご年齢 ④ 「広報誌ふれあい」の入手場所
- ⑤ 今号のご感想(関心のあった記事、今後取り上げてほしい内容など)
- ⑥ クイズのこたえ



プレゼント
ボンネット献血バス 日赤仕様を 5名様に

©TOMY 「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

※お寄せいただいた個人情報は、個人情報に関する法令を遵守のうえ、厳正に管理します。なお、日本赤十字社からの各種ご案内を送付する等の目的で使用させていただきます。
・個人情報の取り扱いの詳細はこちら <https://www.jrc.or.jp/privacy/>